

子どもから高齢者まで、一人ひとりの活動がセーフコミュニティの推進力です みんなで作るセーフコミュニティとしま

昨年11月のセーフコミュニティ国際認証取得から1年が経過しました。認証取得はゴールではなく新たなスタートです。安全・安心なまちづくりを進めていくためには、引き続き、地域の皆さんとともに改善を加えながら活動していくことが大切です。皆さんと取り組んでいる10項目の重点課題に応じた予防活動のなかから、今年度の活動の一部を紹介しします。これからも、人と人との絆やつながりを広げ、豊かな地域力に支えられた「安全・安心」を創造し続けていきます。

☎ セーフコミュニティ推進室 ☎ 3981-1782

1 子どものけが・事故予防

としま・セーフコミュニティ・ダンス 「あした・スキップ」の活用



子どもの筋力や反射神経を高め、けがを防ぐ力を養うための楽しいダンスです。区内の保育園・子どもスキップなどの子ども関連施設にDVDを配付しました。

2 高齢者の安全

高齢者総合相談センター(9か所)で 「介護予防サロン」を開設

身近な場所で介護予防に親しんでいただくためのサロンです。誰にでもできる体操と各種レクリエーション、茶話会などを実施します。



3 障害者の安全

ヘルプカードの配布

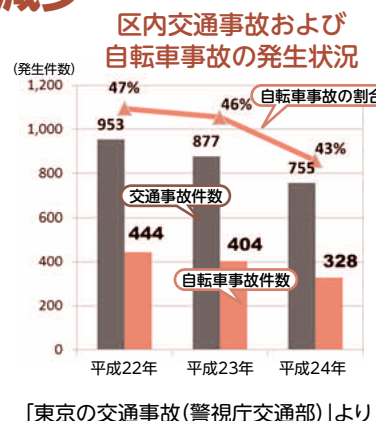


障害のある人が普段から身につけておくことで、緊急時や災害時、困った時に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするためのカードです。また、カードの趣旨を周知するためのリーフレットを作成して、障害者へのサポートを広げます。

4 自転車利用の安全

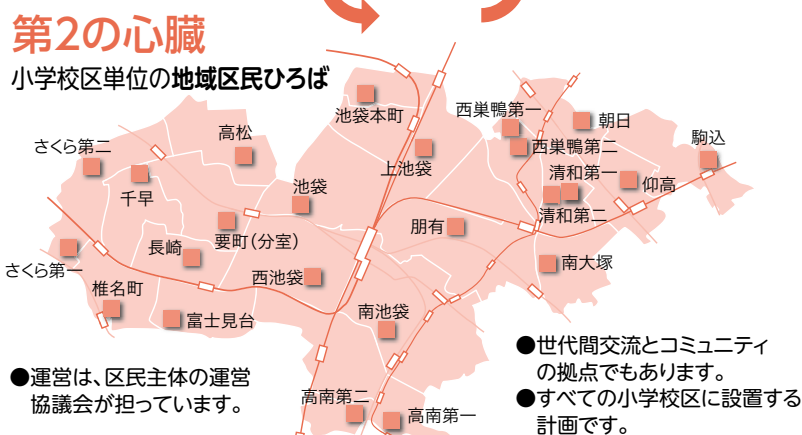
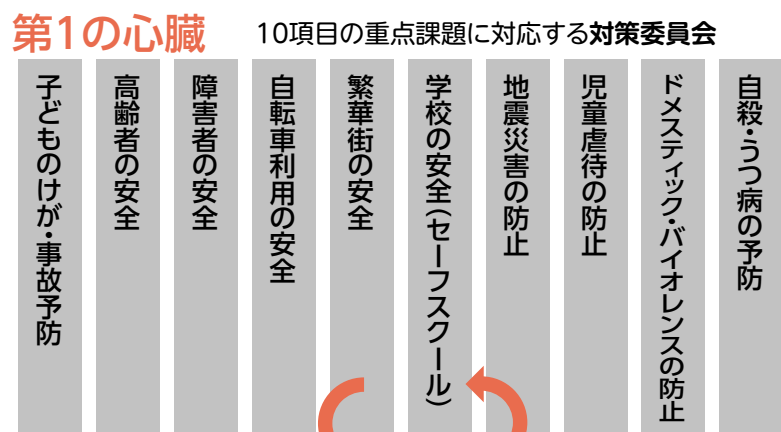
自転車の交通事故が減少

平成24年の1年間に自転車が関与した交通事故件数は、前年と比較して約2割減少しています。子ども用自転車ヘルメットの普及啓発を図るなど、事故予防に努めています。



二つの心臓

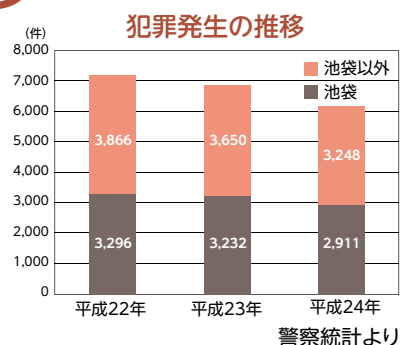
区は、二つの心臓を動かすことでセーフコミュニティ活動を継続しています。「対策委員会」から生み出された予防策を、「地域区民ひろば」を通じて広く区民の皆さんに伝えていきます。



5 繁華街の安全

犯罪発生件数が減少

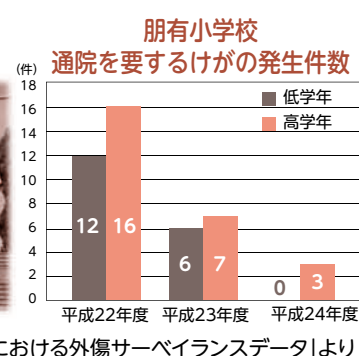
防犯カメラ設置助成や環境浄化パトロールを推進した結果、池袋繁華街地区の犯罪発生件数は減少傾向を示しています。



6 学校の安全(セーフスクール)

朋有小学校のけがの発生件数が減少

国際セーフスクールに取組むなかで、学校内でのけがの発生件数が減少を続けています。



セーフコミュニティとは

「WHO地域の安全向上のための協働センター」が推進する、安全・安心まちづくりの国際認証制度です。「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、原因を分析することで予防できる」との理念に基づき、「横断的な連携・協働」と「科学的手法の活用」により、安全・安心と健康の質を高めていく活動です。豊島区は、世界で296番目、日本で5番目、東京では初めて、この国際認証を取得しました。

7 地震災害の防止



2年間に34.2%から42.6%に増えました(区民意識調査より)。

救援センターの認知度がアップ

年間を通じた防災訓練やパンフレット・防災地図の配布などにより、「自分の救援センターがどこか知っている」と答えた人が、平成23年から25年の

8 児童虐待の防止

虐待防止区民講演会開催

児童虐待防止7,000キロマラソンに挑戦中の甲斐英幸氏を迎え、8月27日に区民講演会を開催。区民の皆さんとともに虐待防止を訴え、5キロマラソンを行ないました。



※11月は児童虐待防止推進月間です。

9 ドメスティック・バイオレンスの防止

池袋西口公園でフラッシュモブ実施



11月2日、参加者を募集し、女性への暴力防止のテーマダンス「Break the chain」を踊りました(主催/NPO法人青い空-子ども・人権・非暴力、協力/としまNPO推進協議会ほか)。
※11月12～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。

10 自殺・うつ病の予防

自殺対策・うつ病対策啓発ミュージカル 「やまない雨」豊島公演

- 11月28日(木) 午後7～9時
- 11月29日(金) 午後2～4時、7～9時

不動産会社に勤める男性の生活をとおり、うつ病を正しく理解するためのミュージカルを上演します◇各回250名◇共催/NPO法人社会貢献ミュージカル振興会
☎電話で池袋保健所 ☎ 3987-4231へ
※先着順。



「恋愛の数だけHIVを語ろう」 12月1日は世界エイズデーです

11月16日～12月15日は東京都エイズ予防月間です。
エイズについてあなたができることを考えてみませんか?
☎健康推進課保健指導係 ☎ 3987-4174



レッドリボン

●一日約4人が感染!

エイズは若者の間で広がっています。なぜ増えているのか、どうしたら予防できるのか、この機会に考えてみませんか?

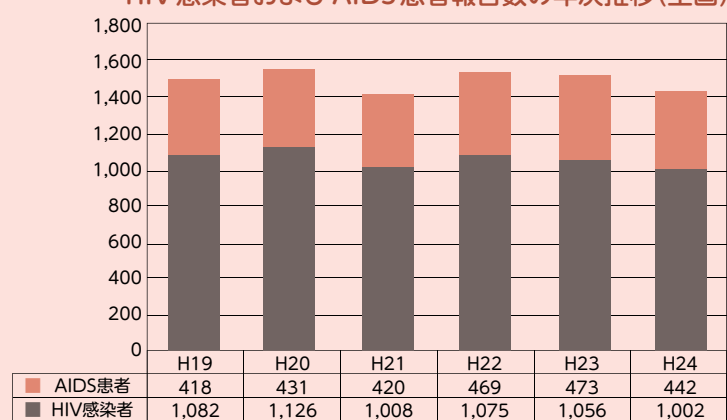
●エイズってどんな病気?

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって体の免疫機能が徐々に破壊され、悪性腫瘍や感染症などが現れるのがエイズです。しかし早期は自覚症状がほとんどなく、検査をしなければ気づきません。早期に発見し適切な治療を受けることによりエイズの発症を抑え、長期間、今までと変わらない生活を続けることも可能になってきました。

●感染に気づくことが大切

平成24年の都内の新規HIV感染者報告件数は369件、新規エイズ患者報告件数は92件、合わせて461件で2年ぶりに増加しています。全国の新規HIV感染者報告数は1,002件、エイズ患者の報告数は442件で昨年度よりは減少していますが、横ばいの状態が続いています(右表)。

HIV感染者およびエイズ患者報告数の年次推移(全国)



9割が性的接触による感染です。新規HIV感染者は20・30歳代に多く、エイズ患者は30歳代以上に多くなっています。また、感染が発見された時すでにエイズを発症している人が3割もいます。

●エイズ/AIDS知ろう館でエイズを知ろう

池袋保健所1階にある「エイズ/AIDS知ろう館」は、エイズに関する図書・ビデオなどの資料をそろえています。また、小グループでのエイズに関する勉強会やビデオ学習会などが開催できます(予約制)。
予防月間中は、エイズに関する資料配布や、パネル展示をしています。



HIV検査を受けよう(無料・匿名・予約制)

池袋保健所ではHIV検査を毎月実施しています。12月は即日検査(要予約)を実施します。この機会にぜひ検査を受けましょう。

12月のHIV即日検査 ※要予約。先着順。

12月7日(土) 午後1～2時受付(午後2時から結果説明) 池袋保健所2階
◇検査時期は感染の機会から3か月以降◇70名
☎電話で池袋保健所 ☎ 3987-4244(月～金曜日 午前8時30分～午後5時)へ。

講演会 「意外と知らない?! 女性のカラダとホルモンのお話」

12月2日(月) 午後2～4時 池袋保健所3階講堂
◇「女性ホルモン」「月経にまつわるトラブル」「妊娠に備えるからだづくり」「性感染症って何?」「レディースクリニックってどんなところ?」など、女性にとっては身近な話題です。この機会に、より健康的で快適な生活を送るためのヒントを得てみませんか。
◇講師…しるのざきクリニック医師/篠崎 百合子氏◇区内在住、在勤、在学の女性
☎電話で当係 ☎ 3987-4174へ。